



ひこうきぐも

特定非営利活動法人 色 就労支援センターそらいろ
(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

Vol.06
2020.春

スタッフはいかにリカバリーを促す支援をしているか

理事 佐藤 純

日頃、就労支援センターそらいろのスタッフやメンバーのみなさんの活動のご報告や議論には「リカバリー」という言葉がたびたび登場しています。「リカバリー」というのは、いろいろな定義がありますが、精神疾患にかかることやその治療や暮らしの中で自分らしい生活を送ることが難しくなった人々が、仮に精神疾患が善くならなくても、自分で自分らしく生き活きと自分の人生を歩むことができるようになっていくことだと私はとらえています。

さて、最近、INSPIRE というリカバリーに関する面白いスケールを見つけました。通常、リカバリーのスケールというのはメンバーのリカバリーがどれだけ進んできているかという観点で評価されるものが多いのですが、このスケールはスタッフがメンバー自身のリカバリーにどれだけ貢献してくれているのかを評価してもらうスケールです。短縮版は5項目ですが、たとえばある質問は「担当スタッフから、あなたのリカバリーをどれくらい支援されていると感じますか、もっともあてはまる場所に○をつけてください」とあり、質問項目について「そう思わない」から「そう思う」まで5段階で評価されていますが、「1 担当スタッフは、私がまわりの人からサポートを受けていると感じられるように支援してくれる」、「2 担当スタッフは、私が将来に夢や希望をもつことを支援してくれる」、「3 担当スタッフは、私が自分自身をよく思えるように支援してくれる」、「4 担当スタッフは、私が自分にとって意味のあることをすることを支援してくれる」、「5 担当スタッフは、私が自分の生活を自分で決めていると感じられるように支援してくれる」とあります。

支援者がどこをみてどのように支援しているかがわかるような質問項目ばかりですね。就労支援となるとどうしても就労できるという結果が目標となってしまいますが、大切なのはそのプロセスです。すべての人が自分らしく働くために行う支援というのは何が大切なのか、何をどうすればメンバーのリカバリーを促進させるのか、を今一度点検させてくれるとても良い機会となりました。

注) INSPIRE は Julie Williams, Mary Leamy, Mike Slade とロンドン大学キングス・カレッジの同僚らによって英語で開発されました。詳細な情報は、researchintorecovery.com/inspire から入手できます。日本語版 INSPIRE は東京大学チームによって翻訳されました

(<http://plaza.umin.ac.jp/heart/archives/inspire.shtml>)。



◆profile◆

さとう あつし
佐藤 純

京都ノートルダム女子大学
現代人間学部
福祉生活デザイン学科准教授

就職おめでとう!

今回は就職された6名の方からお話を聞かせていただきました。皆さんの頑張っておられる姿は私たちに力を与えてくれます。



「仕事に就いて」 T.N

今年度は正直就職出来るんだろうか?と思い不安でしたが、会社に携わる仕事に就けたら良いなあと考えていましたが選びました。私は生活保護受給者ですので給与が1万5千円よりも仕事をさせて頂ける喜びが生きる力になった気持ちで大切に働いて行こうかなと思っています。

私が今の仕事に就いて3カ月半になります。仕事内容はマンションの清掃です。勤務内容は週2日の2時間です。近々簡易清掃を1日増やして欲しいと会社に言われた為、半分の1時間ですが増える予定です。私の仕事のブランクしていた年数を考えると、ちょうど良い職種に就けた



と思っています。そらいろに通所していた5.6今は満足しています。前は趣味のファッション年齢的な事もあり、それは諦めて今の仕事を千円を超えると差し引かれるんですが、そんなところがあります。これからも、そんな

「働くということ」 ヨウ

その状態が三時間続くのだ。何も三時間、走れ、というわけじゃないのだから、なんてことはないのかと思うのだが、まるで、高校野球の練習を思わせる程の緊張感がある。昔は、午前九時から、午後五時まで働くという事が常識だったのだ。今、経済戦線のスタート台に立てたと思う。うまく言えないが徳川三百藩のような組織に入り込んだのだ。残りの時間は、こうして、コラムを書くなり、サロンにいくなり、醍醐山へ行くなり、スポーツをするなり、図書館へいく。そうして、人間関係の輪を広げていくのである。基礎を構築するのである。

初給料が出た。会
ら、週五日、三時
という事だろうか。
条烏丸へ通勤してい

社という組織の一員になれたと思う。一月か
間勤務となった。いわゆる、週十五時間勤務
三十年前は、家から一時間かけて、バスで四
た。現在は地下鉄東西線と、烏丸線で、松ヶ

「そらいろと就職」 K

行かせてもらったのですが、この仕事が自分にとって一番安心できる場所なのとすぐに就職出来るのがメリットだと思い決めました。仕事場の人間関係など分からない事は多くあるものの踏み出してみないと分からない事もあると思っています。失敗前提で気楽に考えました。自分自身の人生もほぼ失敗で好きじゃない事でも我慢して10年続けると好きになると思っています。そらいろ現役生にかけられる言葉はないですが、人には人の考えがありそれに寄り添う事でお互い楽になれると思います。

そらいろでの生活は働いているという意識はなく自分自身の精神面での不安を取り除く為
にスタッフの方々に相談したり同じ境遇の利用者と笑い話をする事で満たされて
いました。でも貯金が少なくなってきた不安になりました。このお金がなくなれば母
親に借りれば良いもののそれはなるべく避けたいと思い就職しました。

以前から働いていた介護の仕事を選んだのは色々な職種に実習で



見学会のお知らせ いつでもお気軽にお問い合わせください

『働きたいから、就職活動のサポートをしてほしい』『就労移行支援事業所って、どんなサポートをしてくれるの?』と思っておられる方に、見学会を開催しています。見学するだけでも、もちろんOKです。そらいろが、就労移行支援事業所が、どんなところかまず見学に来てみませんか? ぜひぜひ、お待ちしております☆

■今後の予定

4月 8日(水)	15:30~
5月 13日(水)	15:30~
6月 10日(水)	15:30~
7月 8日(水)	15:30~



「長距離ランナー」 抹茶プリン

まずは、そらいろに感謝を述べたいと思います。半年間面談や講座で就職まで導いてくれて。今は楽しく働いており、時間を延ばすという目標もあります。さて、障害者の雇用はごくわずかですし、したい仕事をするためには売り込まないといけませんね。採用されない理由をずっと考えてしまうと苦しいですが、意外と自分の特技やいいところは沢山眠っているのです。沢山見つけて履歴書に書き、仕事を手にいれましょう。

わたしは現状維持が苦手です。気が散って色んなことに手を出してしまいます。でも、仕事も勉強や恋愛のように時間をかけて自問自答、コール&レスポンスしながら答えはなくとも続けていくものなのだと感じています。



「そらいろを卒業して」 H.R

私はそらいろに3年間通所し、4ヶ月前から今の会社に勤め始めました。8年ほど仕事をしていなかったので、大きな不安を抱えつつですが皆さんに支えられながらなんとか頑張っています。まだまだ朝会社に行くときは緊張したり、対人恐怖でしんどいところもありますが、今のところほぼ休まずに会社に行けています。働き始めた

頃はそらいろの仲間と会えなくなったことや、疲れと忙しさから好きなことができなくてつらかったのですが、数ヵ月経った今では少しずつ余裕が生まれ趣味に費やせる時間も増えてきました。働きはじめて一番嬉しかったことは、頂いたお給料を家に入れて母に喜んでもらったことです。これからもコツコツとお仕事を頑張っていこうと思っています。

「働き始めて感じたこと」 T.H

私は、昨年の8月に老人のデイサービスセンターに就職をしました。

最初の一番気を使い、疲れやすい時にそらいろのスタッフにジョブコーチとして同行していただき、とても助かりました。そのおかげで、職場にもすんなりと馴染むことが出来ました。また、就職後もう一か月に一度、悩みや体調の問題などの相談に乗っていただいたので、一人で問題を抱え込まずに済み、結果、余裕を持って仕事を続けられています。自分の変化としては、仕事をすることによって自分を少し肯定できるようになりました。また、わずかですが、自分で働いて得たお金は、とても気持ちの良いものとなっています。最後に私に今まで関わって下さった方々に、感謝を申し上げます。



T.Hさんにお出会いさせて頂いたのは、昨年6月の事です。

私たちの事業所は例年に増して人材不足。少しでも補助的なお仕事をしてもらえる方がおられないかと悩んでおりましたところ、ご縁があって「就労支援センターそらいろ」の池田所長にご相談させて頂いたことがきっかけでした。Hさんの第一印象は、「体格の良い、実直そうな方」。2週間の実習期間を経て、昨年8月6日から週3日の契約で午後の清掃その他諸作業をお願いしています。自身で作業マニュアルを作成されたりと努力され、その後週4日に、今年の2月からは週5日に契約変更して頂きました。障害により長く就労はされておられなかったと聞いておりましたが、実習期間に振り返りを丁寧に行えたことや、勤務時間や日数を徐々に増やして行けたことがご自身にとっても無理なくペースを掴んでいかれたと思います。ちょっとしたミスはお互いに笑って訂正できること、私たちがHさんのおかげで他の業務に付けることに感謝することが大切だと感じています。今ではスタッフの一員として大活躍して頂いており、これからも長くこの当センターでお仕事を続けて頂きたいと願っております。

京都市西京老人デイサービスセンター
施設長 石田 京子



賛助会員の皆様

(敬称略・順不同)

・NPO 法人日本学び協会
ワンモア

【4名(掲載辞退3名)】

(令和元年10月~令和2年3月)

ありがとうございました。

フレスコ 三条店

「仕事そして継続する意味」 K. K

私は結構な頻度でスーパーを利用します。そこでは当然のように色々な方がいろんな作業をしていらっしゃいます。その中でも品薄な商品を補っていく作業は単純で単純な作業と思っていました。そんな私はフレスコさんで2週に1回ほどですが作業させて頂きその大変さに驚きました。補わないといけない商品の前で目が点になり、どこから手をつけてよいのやら茫然とするのです。確認の後、山と積まれたダンボールの中から探し出さないとはいけません。今は役立たずな私です。しかし、私は思うのです。いつか、この作業が楽しくて仕方がないと思える日がきっと来ると。どんな作業も、極めれば大変な仕事も喜びに変わると。

S 商店

「実習で得たもの」 J. T

御朱印帳などを扱う商店さんでのグループ実習に参加しました。スタッフさんとメンバーさんの4名程で、御朱印帳の紙を合わせていく作業を分担して行いました。最初は試行錯誤の連続でしたが、何回か続けていく間にスムーズに進み、集中力が増していき、自分にもこういう作業が出来るのだという自信も少し持てました。この実習を通して、私も含めメンバーさんが自分の可能性を感じてそれを共有できたら嬉しいなと思いました。



そらいろ活動報告② サークル活動

英会話サークル

「会話のできる人間に」 ちゃぼん

月に2回、水曜日に英会話サークルが開かれています。英語で会話ができるようになるというのが、このサークルの目的です。私は、外国の人とコミュニケーションをとることに興味があるので参加しています。用意された英文を読むのとは違い、自分で考えて話すというのはとっさに言葉が出てこなくて難しいです。ですが、このサークルに参加することで、個人的に英語の勉強をするモチベーションも上がりました。少しずつ会話ができるようになればいいと思います。

「英語ステップアップ」 そらいろのキムタク (笑)

英会話サークルでは、早川さんという英会話の堪能な職員さんを中心として、you tube で英会話ガイドを音読して、その後英会話で話し合いをして、最終的には自己紹介や道案内ができるようになる事を目標としております。僕自身は英語はblankが長いので英語力は落ちてますが、昔勉強したことを思い出しています。英会話の会話では知っている英単語がいざという時に中々出て来なくてももどかしい気持ちになります。こんな僕ですが、これからは語学が必要だと聞いて直ぐに仕事に役立たないかもしれませんが英会話サークルに参加しました。正直、僕みたいなものが拙い英語を話すのは恥ずかしいですが頑張っています。英語と英会話は違うもので、参考書を読んで勉強しても挫折するそうです。毎回英会話サークルに参加することでちょっとでも前進すればいいと思います。第一歩に英会話サークル、いかがですか？



文中のイラストはそらいろの利用者 N.T さんが描いてくれました。(^-)-☆



編集後記

今号においては12名もの方から原稿を寄せていただきました。思いがいっぱい込んでいるので、誌面から溢れ少々読みづらくなるのではと心配しましたが、N.Tさんのやさしいイラストに助けられました。次号においてもメンバーさん達の就職やそらいろでの日々の活動が満載された「ひこぎぐも」がお届けできたらいいなと思っています。そらいろはこの4月に10年目を迎えました。皆様、今後ともよろしくお願いたします。(スタッフ 人見琢也)

特定非営利活動法人 色
就労支援センターそらいろ

(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町 11-5
TEL & FAX : (075)841-5111
E-mail : sorairokyoto@gmail.com
U R L : <http://sorairo-k.jimdofree.com>

